

令和5年度 学校経営の改革方針

鈴鹿市立合川小学校

I めざす学校像

学校教育目標『豊かな人間性とたくましい実践力をもった児童の育成』

めざす学校像

- ・確かな学力の育成をめざし、日々の学習を大切にする学校
- ・子ども同士が繋がり合い、優しさと笑顔あふれる学校
- ・地域や保護者に信頼され、地域とともにある学校

めざす子ども像

- ・自ら学び豊かに表現しようとする子
- ・心豊かで思いやりのある子
- ・心身ともにたくましい子

めざす教師像

- ・子どもにより添い、共感できる教師
- ・指導力を高めるため、自己研鑽に努める教師
- ・豊かな人間性を持ち、円滑な人間関係が築ける教師
- ・教育に情熱と使命感をもつ教師

II 現状と課題

- 1 昨年度の児童アンケートにおいて、「学校は楽しいですか」に94%、「英語の授業や活動は楽しいですか」に96%の児童が肯定的な回答をしており、児童は楽しく学校生活を送っている。また、「授業の内容はよくわかりますか」にも92%の児童が肯定的に答えている。しかし、「学校は楽しいですか」、「授業の内容はよくわかりますか」の項目は、新型コロナウイルス感染症の蔓延以前と比べると、年々少しずつ数値が低くなっている。今年度は、教育活動の制限が大きく緩和されることから、指導内容や指導方法の向上をめざし、授業改善に取り組んでいく。また、家庭学習に関する問い「『15分×学年』の時間、家で勉強していますか」においては、「はい」「どちらかというとはい」と答えた児童は77%で、前年度より11%減少している。家庭学習が定着している児童と定着していない児童との差が大きいため、保護者と連携を図りながら家庭学習の定着に取り組んでいく。
- 2 「自分から進んで気持ちのよいあいさつをしていますか」に肯定的な回答をした児童は85%で、昨年度より6%減少している。今年度は、児童会活動を支援するとともに、教職員が率先して取り組み、自分から進んで気持ちのよいあいさつをする児童100%をめざす。
- 3 令和4年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、児童の活動に一定の制限を設けていたため、活躍の場を従来どおりに与えることができなかった。「自分にはよいところがある」に肯定的に答えた児童は72%と昨年度より6%減少するなど、年々減少傾向にある。一人ひとりが活躍できる場を工夫し、教職員が児童を認めるとともに、児童同士が繋がり合い互いを認め合う場を大切にし、児童の自己肯定感を高めていく。
- 4 全学年で英語教育を実施しているが、低学年が英語に触れる機会が少ない。英語に触れる時間やコミュニケーションを図る機会を充実させていく。また、ICT機器の活用、地域との連携、異学年交流などで、魅力ある学校づくりを進める。
- 5 今年度も引き続き、教職員の業務の見直しと意識改革を行い、時間外労働時間の縮減を図り、教員が児童と向き合う時間を確保できるようにしていく。

III 経営方針

- 1 確かな学力を育成する学校づくり
- 2 豊かなかかわりを育み、豊かな心を育てる学校づくり
- 3 健やかなからだと体を育む学校づくり
- 4 楽しく安心して学べる学校づくり

5 地域や保護者とともにある学校づくり

IV 具体的な行動計画

[確かな学力を育成する学校づくり]

- 1 わかる授業をめざした指導方法の工夫・改善に取り組む。
 - ・全担任が研究授業を実施し、自分の考えや思いを表現する力の育成を図る。
 - ・すずっ子ファイルを活用し、特別な支援が必要な児童の個に応じた教育を推進する。
 - ・教育委員会と連携し、外国人児童の日本語指導を推進する。
- 2 外国人児童生徒支援員を有効的に活用し、授業以外にも全校児童が英語に慣れ親しむ機会を設け、英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。
- 3 学校と家庭が連携し、家庭学習の習慣化と定着を図る。
- 4 1人1台端末などのICT機器を活用した効果的な指導方法を研究する。

[豊かなかかわりを育み、豊かな心を育てる学校づくり]

- 1 学校行事や児童会活動、たてわり班活動などで、児童一人ひとりに「出番・役割・承認」の場や自他の違いやよさを認めさせる場を設定し、自己肯定感を高める。
- 2 教職員が率先して取り組み、あいさつとチャイム着席の定着を図る。
- 3 人権教育を基盤にした集団づくりに取り組むとともに、道徳の時間の充実を図る。また、特別支援学級籍への理解を深める授業を各学年で行う。
- 4 多文化共生・国際理解の授業を通して、外国につながる児童への理解を図る。

[健やかな心とからだを育む学校づくり]

- 1 全学年で体力調査を実施し、結果を分析するとともに運動の楽しさや喜びを味わわせる授業づくりに取り組む。さらに、授業以外にも児童が運動する機会を設け、体力向上を図る。
- 2 食育の授業を通して、望ましい食習慣を身に付け、自ら健康管理できる児童を育てる。
- 3 基本的な生活習慣を身に付け、健康で心豊かな生活を営むことができる児童を育てる。

[子どもが楽しく安心して学べる学校づくり]

- 1 教職員と児童、児童同士の温かい人間関係づくりに努める。
- 2 情報共有を徹底し、不登校や、いじめなど問題行動の未然防止・早期発見・早期対応に努める。
- 3 PTAや安全安心ボランティアなどと連携し、登下校時の児童の安全確保に努める。
- 4 子どもの安全確保を第一に考え、教育活動を行う。また、防災訓練・安全教室を実施し、児童の危険の予知・予測や判断力を高め、自分の命は自分で守れる児童を育てる。
- 5 めざす学校像の実現に向け、教職員との対話に努め、目標達成に向けて組織的に取り組む。
- 6 教職員の時間外労働時間縮減に取り組み、働きやすい職場づくりをめざす。

【進捗管理指標】	一人当たりの月平均時間外労働	30時間以下
	年360時間を超える時間外労働者数	0人
	月45時間を超える時間外労働者の延べ人数	0人
	一人当たりの年間休暇取得日数	22日以上
【統一に取り組む】	設定した日の定時に退校できた職員の割合	90%以上
	放課後に開催して60分以内に終了した会議の割合	70%以上

[地域や保護者とともにある学校づくり]

- 1 学校運営協議会での熟議を大切にし、地域とともにある学校づくりを進める。
- 2 学校だより・学年通信、ホームページ、メール配信などを活用し、情報発信に努める。
- 3 学校自己評価、学校関係者評価を実施し、次年度の学校改善につなげる。
- 4 天栄中学校区の幼稚園・小中学校と連携した取組を進める。